

## (11月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率 (%)	
みかん類		23,100	90	23,773	162	133	199	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早生みかん総体の生産量は前年の9割レベルと少ない。入荷ペースは遅れ気味で小玉傾向。</li> <li>・愛媛産の主力銘柄が11月上旬前半になると一気に増加する。</li> <li>・価格は基調安であった前年に比べ強めの展開。</li> </ul>
りんご類		9,531	97	9,131	208	105	237	3,344	35.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・りんご類はふじが主力となる。</li> <li>・山形産は着果量は平年並で、肥大も概ね順調。</li> <li>・長野、青森産も早生種のような遅れはない模様。</li> <li>・10月の天候にもよるが、ふじ総体の入荷量は前年並からやや少なく、みかん類も少ないことから販売は堅調の見通し。</li> </ul>
かき類		7,825	80	8,387	194	150	208	176	2.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かき類の生産量は総じて平年を下回る。</li> <li>・平核無の和歌山、奈良産は上旬で終了し、中旬からは新潟産が主力となる。入荷ペースは前年より遅め。</li> <li>・価格は他の品目に比べ堅調の見込み。</li> </ul>
なし(ラ・フランス)		1,347	85	1,315	228	102	259	1,318	97.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山形産ラ・フランスが10月中旬から始まった。着果量は平年並であるが、前年と比較するとやや少ない傾向。</li> <li>・新潟県産のル・レクチェは夏場の高温干ばつの影響で生理障害が多く予想出荷量は当初計画より1~2割減の予想。</li> <li>・ラ・フランスの価格は安値基調の前年よりやや高い予想。</li> </ul>
いちご類		654	93	742	1,625	100	1,628	2	0.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とちおとめは11月に入り徐々に増加し、クリスマス需要に併せた出荷体制。</li> <li>・あまおうは11月15日頃から出始める。作付けは微減だが、育苗、定植ともに順調。入荷は前年並み。</li> <li>・いちご類総体では主力品種の不足感はなく、価格は前年並の見込み。</li> </ul>